

2006 年
秋号

YUTOROGI quarterly — October 1, 2006

季刊 ゆとろぎ

発行：羽村市教育委員会／企画・編集：羽村市生涯学習センターゆとろぎ+ゆとろぎ協働事業運営市民の会

2006年ゆとろぎ特別企画

■ 10月3日（火）～15日（日）

新井達矢と能面彫刻の世界

能面作品展&ギャラリートーク

ドキュメンタリー映画『面打 men-uchi』

■ 10月14日（土）

中所宜夫が新井達矢の面を舞う

観世流能楽舞台鑑賞とリンボー先生の話



新・
楽学
遊空間



※写真は上下ともイメージです。

第37回羽村市文化祭

～美と響きの祭典！ゆとろぎ～

芸術の秋、文化の秋です。羽村市で活動している文化団体が一堂に会する文化祭。今回はゆとろぎで迎える初めての文化祭です。作品展あり、ホール発表あり、映画上映あり。新しい施設で文化度はさらにアップしているはず！ ぜひお越しください。

■展示

第1期：10月25日（水）～29日（日）

第2期：11月1日（水）～5日（日）

■ホール発表

10月28日（土）・29日（日）

11月3日（金・祝）・4日（土）・5日（日）

■会場

生涯学習センターゆとろぎ全館

※詳しくは10月23日（月）の新聞折り込みをご覧ください。

ゆとろぎホール

ゆとろぎにはクラシックコンサートも開催可能な大ホール（856席）と多目的に活用できる小ホール（252席）があります。どちらも舞台を身近に鑑賞することができます。ゆとろぎは「全席がS席」を合い言葉にコンサートや演劇など、市民のみなさんに喜ばれるイベントを提案します。

※チケットの購入・問い合わせは生涯学習センターゆとろぎ ☎042-570-0707へ



出演／影絵劇団かしの樹
影絵演出／鷹股良至
音楽／富沢 恵

12月23日（土）開場 13:30 開演 14:00
生涯学習センターゆとろぎ大ホール（全席指定）
子供 500円・大人 1500円
入場券は10月24日（火）発売開始（予約受付中）。

◎未就学児も入場できます。ご一緒にどうぞ！

※希望者には未就学児の一時保育（有料・要予約）があります。

世界中の子供たちから愛され続けている、不朽の名作『ピーター・パン』をさわやかな生の音楽と透明な色彩の影絵でお届けします。

ある夜のこと、ロンドンのダーリング家の3人の子供たち、ウェンディ、ジョ

ン、マイケルが眠っている部屋にピーター・パンがやってきて……
大きな好奇心とたくましい冒険心、そして、純粋な心を持ったピーター・パンは、100年の時空を越えて子どもたちはもてるんだへ旅に出かけよう。

ピーター・パン

親子で楽しむ音楽影絵劇

ちよつと早めの
クリスマス・プレゼント！

2007年
2月



山本邦山（尺八・人間国宝）

佐藤允彦（ピアノ）

坂井紅介（ベース）

尺八と現代音楽のコラボレーション！

山本邦山 JAZZ TRIO

2007年2月24日（土）開場 13:30 開演 14:00

生涯学習センターゆとろぎ大ホール（全席指定）

一般（前売り）3000円・（当日）3500円

※未就学児の入場はお断りします。一時保育（有料・要予約）があります。

演奏曲目

- いそしぎ
- TAKE FIVE
- SUMMER TIME
- 枯葉
- オリジナル曲 ほか

※曲目は変更する場合があります。

山本邦山（やまもと・ほうざん）は都山流尺八奏者の第一人者、人間国宝にして、東京芸術大学教授として知られる一方、日本の伝統楽器、尺八に洋楽という新しい血潮を与え、尺八という楽器の未知の世界を聴かせてくれる。邦山が奏でる往年の名曲「枯葉」や「いそしぎ」は、ときにクラリネットのように、ときにテナーサックスのように心地よい響きを生み出し、50年代、60年代を経験した者には音楽以上のなにかを思い起こさせるだろう。

チケットの販売は12月24日から、ゆとろぎ・スポーツセンター・マルフジ各店・西多摩新聞社チケットサービス他で。邦楽嫌いのあなたにも一聴を推奨。

2007年新春企画

十二音会特別公演

新春雅楽

2007年1月13日（土） 開場午後1時30分・開演午後2時
生涯学習センターゆとろぎ大ホール（全席指定）
一般（前売り）3000円（当日）3500円
※未就学児童の入場はお断りします。一時保育（有料・要予約）があります。

講師 東儀俊美（とうぎ・としはる）氏

雅楽のたのしみ

12月9日（土）午後2時～3時（予定）
生涯学習センターゆとろぎ講座室1
入場無料（受講希望者は事前にゆとろぎ窓口へお申し込みください）



撮影・林陽一

10月に開催される能楽に続き、日本の伝統芸術「雅楽」の特別公演を開催します。また、公演に先ち、芸術院会員の東儀俊美氏による『雅楽のたのしみ』（12月9日・入場無料・要事前申込み）も開催します。雅楽を楽しく鑑賞できるよう、わかりやすく解説していただきます。

「雅楽」は、宮内庁式部職楽部に伝えられる日本の伝統芸術の一つですが、近年、民間の演奏家も増えて、一般社会でも演奏会が開かれるようになってきました。本公演に出演の「十二音会」は、雅楽を一般社会に広めようとの趣旨のもとに、宮内庁楽部に所属する演奏家の有志を中心に民間の演奏家も加わり結成された雅楽演奏家の集まりです。演奏会では、古典的な楽曲だけでなく、現代曲にも果敢に取り組み、その演奏はまさに雅楽の最高峰です。

2007年は生涯学習センターゆとろぎが初めて迎える新年です。ゆとろぎを雅な舞と音楽で飾り、市民のみならず、健康で平和な新年を迎えたいと思います。多数のご来場をお待ちしています。

※入場券は11月13日からゆとろぎ・スポーツセンター・マルフジ各店・西多摩新聞社チケットサービス他で発売。入場券発売前の予約を受付中。ご希望の方は、ゆとろぎ窓口へお申し込みください。

ギャラリー

ゆとろぎの展示室は羽村市内外の美術作家の作品はもとより市民アーティストの作品も含めて、年間を通してアートを展示するギャラリー空間です。市民のみなさんが気軽に本格的な美術作品に親しんでいただけるように企画をすすめています。

※チケットの購入・問い合わせは生涯学習センターゆとろぎ ☎042-570-0707へ



ブロンズ「平和祈念像」



ブロンズ「将軍の孫」



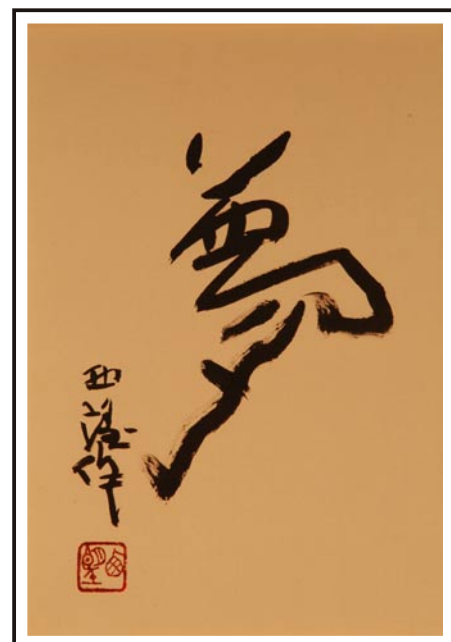
ブロンズ「夢」

故北村西望（きたむら・せいぼう）は大正期から戦後の昭和にかけて活躍し数々の優れた作品を残した、日本を代表する彫刻家です。日本だけでなく世界にもよく知られている作品は長崎市の平和祈念像です。天に突き上げた右手は原爆の脅威を現し、水平に伸ばした左手は平和の尊さを象徴し、軽く閉じた目は原爆犠牲者の冥福を祈っていると言われています。実は、この作品は西望が吉祥寺の住居兼アトリエで製作した作品です。現在、井の頭自然文化園の中にある「北村西望彫刻館」に原型が保存されています。

西望は、1884年（明治17年）に長崎県の南有馬村（現在の南島原市）の名家の四男として生まれました。初めは教師を志望していましたが、

病気をきっかけに彫刻の才能を見いだされ、京都の美術工芸学校で彫刻の基礎を学びました。その後、東京美術学校（現在の東京芸術大学）彫刻科に補欠で入学し、主席で卒業した逸話を残しています。また、その才能は彫刻にとどまらず絵画・書にまで及んでいます。1958年（昭和33年）、文化勲章・文化功労賞を受賞。1987年（昭和62年）3月、104歳で永眠しました。

ゆとろぎでは、「平和祈念像」など西望の代表的な彫刻作品と書画など数十点を展示します。10月に開催される能面彫刻とはちよつと趣きの違う、ブロンズ彫刻の世界を是非お楽しみください。



書（色紙）「夢」

鑑賞事業

平成18年度文化庁
「本物の舞台芸術体験事業」

モダンダンス
～優れた芸術、豊かな心～

子供たちに一流の舞台芸術を身近に観てもらい、感動し、豊かな感性を育んでもらいたい……、そんな願いを込めて文化庁と（社）全国公立文化施設協会の助成を受けて、第一線で活躍しているダンサーによる「モダン・ダンス（現代舞踊）」の公演を行います。

モダン・ダンスは自由奔放なダンスの動きを通して、現代人の内面を表現する芸術です。なにやら難しそうに思えますが、舞台のすばらしさは理屈抜きに楽しめます。対象は高校生以下の子どもと保護者です。家族揃って出かけください。

日時■10月24日（火）
午後4時30分開演
会場■ゆとろぎ大ホール
入場料■無料
小学生以下の児童は保護者同伴または送迎をお願いします。未就学児の一時保育（定員15名、有料・要予約）があります。お問い合わせ・入場の申込みは電話でゆとろぎへ（月曜日休館・午前9時～午後7時）。



The wonderful world of Noh and Noh Mask

2006年ゆとろぎ特別企画

2005年文部科学大臣奨励賞受賞

新井達矢と 能面彫刻の世界

能面作品展とギャラリートーク

—新井達矢 おもて 面を打つ—

■能面作品展

10月3日（火）～15日（日）
10:00～17:00（最終日は16:00閉場）
ゆとろぎギャラリー／入場無料

■ドキュメンタリー映像上映

『面打 men-uchi』

製作監督：三宅流（みやけ・なかる）
出演：新井達矢・中所宜夫・津村禮二郎

10月8日（日） 13:00～14:00
ゆとろぎ小ホール／入場無料

■新井達矢ギャラリートーク

10月8日（日） 14:15～15:00
ゆとろぎギャラリー／入場無料



能楽師・観世流シテ方

中所宜夫が 新井達矢の 面を舞う

観世流能楽舞台鑑賞と
リンボー先生の話

能『殺生石（せっしょうせき）』

狂言『蝸牛 善竹十郎』

特別ゲスト 作家・林望（はやし・のぞむ）氏

■10月14日（土）開場 13:30・開演 14:00

■ゆとろぎ大ホール（全席指定）

■入場料（一般）前売り 3200円／当日 3500円
（高校生以下）1200円

※能面作品展にてアンケートにご回答いただいた方には200円の特別割引があります。
※未就学児の入場はお断りします。一時保育（有料・要予約）があります。



※チケットの購入・問い合わせは生涯学習センター ゆとろぎ 042-570-0707へ

アカデミア

「アカデミア」は広く市民の生涯学習を支援する学習空間です。市民の暮らし・生活にかかわる問題、芸術・趣味の講座、学習・教養教室、地域社会の問題などをテーマにさまざまな学習・創作活動を提案していきます。

絶滅の危機にあったアホウドリを救え…… アホウドリ先生のとてつもなく勇気が湧いてくる話

長谷川博（はせがわ・ひろし）さん 東邦大学理学部教授。動物生態学が専門。1976年から鳥島においてアホウドリの現地調査を開始。1998年、第32回吉川英治記念文化賞受賞。06年9月、財団法人山階鳥類研究所から鳥類の研究保護に顕著な功績があった人に贈られる山階芳廬賞を受賞。最新著書『アホウドリに夢中』（新日本出版社）ほか著書多数。1948年、静岡県生まれ。
<http://www.mnc.toho-u.ac.jp/>



ゆとろぎ市民文化講座 第1回

よみがえれ！ アホウドリ

東邦大学教授 長谷川博さん

■ 12月16日（土） 開場 13:00 開演 13:30

■ 羽村市生涯学習センターゆとろぎ小ホール

■ 入場料 500 円（高校生以下無料）

※未就学児の入場はお断りします。一時保育（有料・要予約）があります。



東京から伊豆七島を越えて南に約600キロ、太平洋のまっただ中に浮かぶ「伊豆鳥島」は、かつては島中にアホウドリが巣を張り、子育てを行い、安全に暮らすことができる洋上の楽園でした。「鳥島」という名前もここから名付けられたといえます。

明治の中頃、欧米で需要の高い羽毛布団の原料としてアホウドリの羽根に目をつけた人々が鳥島に移住し、年間20万羽にぼる乱獲が始まりました。1933年によく捕獲が禁止されましたが、一時は絶滅したと言われていました。

ところが、1952年に奇跡的に数羽の生存が確認され、1962年、国の特別天然記念物の指定を受け、現在、絶滅危惧種として国際的にも保護されています。

長谷川博教授（東邦大学）は、1976年から鳥島でアホウドリの生態調査を重ね、長谷川教授や関係者の不断の努力のおかげで、現在では1800羽を超えるまでに回復しているそうです。

ね、「デコイ」と呼ばれるアホウドリの実寸大模型を使って仲間を誘う独創的な方法を考案し、鳥島の新たな場所に安全な繁殖地を作ることに成功しました。雄のアホウドリがデコイの一つに恋をして、巣作りと求愛ダンスを続けたという逸話はニュースで報道され、一躍話題となりました。

長谷川教授や関係者の不断の努力のおかげで、現在では1800羽を超えるまでに回復しているそうです。

ゆとりぎ工房

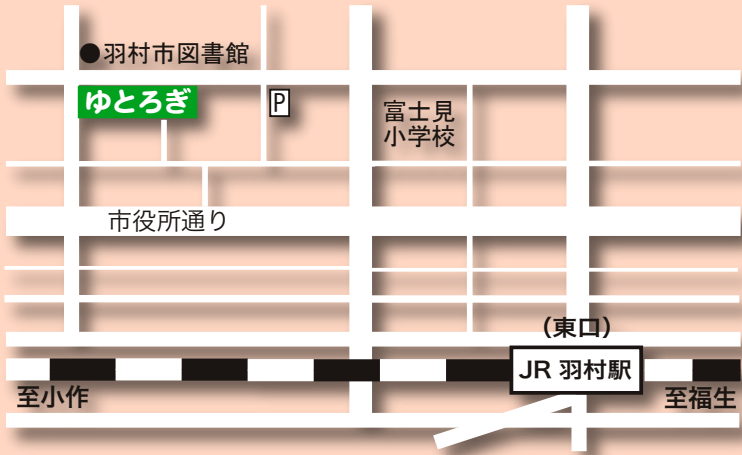
- 講座の受講申し込みは講座開催日の2ヶ月前から受け付けます。応募多数の場合は原則として抽選となります。
- 受講申し込みは、往復ハガキに講座名・氏名・住所・電話・e-mail アドレスを明記の上、ゆとりぎへお申し込みください。
- 一旦申し込んだ後、受講者の都合で受講をキャンセルした場合は「材料費」をご負担いただきます。
- 納入された受講料は主催者の都合による場合を除いて、払い戻しは致しません。

子育て奮闘中のヤングママ、
ゆとりぎに来ませんか？

乳幼児をもつ若いお母さん、
ちょっと肩の力を抜いて、ゆと
ろぎで趣味をしながら仲間作り
をしませんか？

ゆとりぎでは、市内の乳幼児
をもつ若いお母さんを対象に趣
味の体験教室を開催致します。
お母さんが受講中は専任の保育
士による一時保育（有料）があ
りますので、安心して講座を受
けることができます。また、ゆ
とりぎが講座を通して同じお母
さん同士で気軽に話ができる仲
間作りをお手伝いします。

参加をご希望の方は、FAX または往復ハガキでゆとりぎへお申し込みください。
羽村市生涯学習センターゆとりぎ
〒205-0003 羽村市緑ヶ丘1-11-5
Tel. 042-570-0707 / FAX 042-570-6422



※ゆとりぎ・図書館へは市内循環バスの「はむらん」を利用し「ゆとりぎ前」で下車が便利です。「はむらん」の詳しい運行については羽村市役所市民生活安全課までお問い合わせください。 羽村市役所 (代表) 042-555-1111

初心者のためのわかりやすい
詩吟体験教室を開催します

日本の伝統文化の一つ「詩吟」
を初心者にもわかりやすく体験
してもらう企画です。

詩吟は幕末・明治維新の頃、
武士層を中心に漢詩を声高らか
に朗詠することが流行したこと
に由来するといわれています。
当時、詩とは漢詩（中国の詩）
を意味していたので、日本独自の
「歌」と区別して「詩吟」と
よばれるようになったそうで
す。詩吟の魅力は、腹の底から
大きな声を出すこと、美しい日
本語を声に出して味わうこと、
記の上ゆとりぎへ。

トンボ玉教室

大人気の「トンボ玉教室」
を「3回コース」で第1期と
第2期に別けて開催。第1期
（10月6日・11月10日・12月1
日）は既に受付終了。第2期
を2007年1月12日・2月
2日・3月2日に開催します。
いずれも、金曜日の午前10時
から正午まで。費用は受講料
3000円＋材料費5400円
（3回分の総額）です。応募多
数の場合は抽選となります。参
加申込みは往復ハガキに必要事
項を明記して、12月25日（月）
までにゆとりぎへ。

日本画初心者教室

日本画の基礎から体験できます。水彩
画とも油絵とも違う、日本画の世界をの
ぞいてみませんか？
11月8日から来年の3月28日まで、毎
月第2・第4水曜日の午後1時から4
時、ゆとりぎ創作室2で行います。費用
は受講料10000円＋材料費800
円（全日程の総額）です。絵筆・絵具・
用紙などの個人消耗品は別途各自でこ
準備いただきます。受講希望者は往復ハ
ガキに講座名・氏名・住所・電話番号を
明記の上、10月28日（木）までにゆと
ろぎへお申し込みください。応募多数の場
合は抽選となります。

パソコン工房

※講座は内容の変更あるいは中止になる場合があります。
※講座中に①②の区別があるものはどちらかを選択。

講座名	対象	受講料	開催日時	内容
年賀状を作ろう <10月コース>	各10名	各1500円	10月毎金曜日 10:00～12:00	○パソコンやデジカメをお持ちの方、今年こそWordで一味違った年賀状を作りませんか。この時期なら、まだまだ充分間に合います。 ○<11月コース>は①か②のどちらか都合の良い方を選んでください。 ※10月27日から11月は会場の都合で開催場所を羽村市図書館のボランティア室（2階）に変更。
年賀状を作ろう <11月コース>			11月毎金曜日 ①午前コース 10:00～12:00 ②午後コース 13:30～15:30	
Excel 中級講座	各10名	各1500円	10月 毎金曜日 13:30～15:30	○Excelの表計算機能・グラフ機能・データベース機能の知識と操作技術を講義・実習で学びます。 ※今回に限り、会場は羽村市図書館のボランティア室（2階）に変更。
Excel 初級講座	各15名	各1500円	12月 毎金曜日 10:00～12:00 ※29日は休館日	○Excelの表計算機能・グラフ機能・データベース機能を生活に役立つ応用例で学びます。

ゆとろぎ クラブ

「ゆとろぎクラブ」はゆとろぎと市民のみなさんが交流するための空間です。事業についての感想・意見もOK。事業のリクエストも大歓迎。あんなことこんなこと、わいわいがやがや、市民のみなさんからの投稿もお待ちしております。

舞台裏

ゆとろぎ協働事業運営市民の会展示部会 ギャラリ―運営委員会



▲毎回の定例会議では、時に笑いが吹き出すなか、熱い議論が交わされている。



◀委員会のメンバーは多芸多才。完璧な装置のお陰で作品の撮影は3日で完了した。

4月1日の開館以来、ゆとろぎ1階にある「展示室」では、「絵本『もだちや』原画展」（4月）、「西多摩百景写真展」（7月）、「アートinはむら展」（8月）と独創的な事業が立て続けに開催され、多くの市民で賑わった。10月には新井達矢さんの「能面作品展」が行われる。これらの事業は、その企画から運営までを通称「ギャラリ―運営委員会」が担っている。

ギャラリ―運営委員会には12名の市民ボランティアが活躍している。毎月、定例委員会を開き、次に行う事業企画の検討から、直前に迫った展示会の準備・打ち合わせ、さらに終了した事業の反省まで、和気あいあいとした中にも真剣な話し合いが行われている。

10月3日から始まる能面展は、今春から関係者への交渉を開始し、展示場の会場設計に着手。8月初旬、酷暑の中を3日にわたって新井さんの作業場で作品の写真撮影メンバー自作の撮影装置が活躍した。8月下旬、ポスター・チラシなどの宣伝物の製作配布。この間、「アートinはむら展」が同時進行し、まさに綱渡りのスケジュールを相互協力で乗り越えて能面展の開催に漕ぎ着けた。

展示室の運営には多くの人手を必要とする。委員会は「展示会の受付をしてくれる人の確保がままならない」と悩みつつも、「ゆとろぎを美術館に」を合い言葉に手弁当で頑張っている。ギャラリ―に興味関心のある方はご協力を。

体験記

『アートinはむら展』

ゆとろぎ館内の落ち着いた雰囲気のおかげ、ゆったりとしたペースをとって作品が展示されているのは、本物の美術館に入ったようで、今回のテーマである「ゆとろぎ美術館」にぴったりだと思いました。

（作品タイトル、作家のコメントが記載されたチラシ）を手に作品を探索しながら（作者のは、期待感が増して楽しかったです。現代アートにふれる機会があまりなかったの、近隣の多摩地区にこれだけ多くの作家がいて、創作活動をされていることに驚きました。（ひげた）

自由気ままに想像を膨らませながら（作者にはごめんなさい）、アート展を楽しませていただきましたが、作家による話（※8月26日のギャラリートーク）に参加していたら、もっと楽しめたのではないかと後ろ髪を引かれました。（ひげた）

ハートを魅了した弦楽四重奏団



羽村の皆様へ
私たちチャイコフスキー弦楽四重奏団は羽村ゆとろぎでのみなさまの心温まる歓迎と感激を胸に無事モスクワに帰国致しました。皆様とのすばらしい交流を決して忘れません。またいつの日か、お会いできることを楽しみに致しております。
代表レフ・マスロウフスキー

チャイコフスキー弦楽四重奏団のみなさんは予定を早めて7月27日に来日。モスクワからの長旅と時差の疲れもいとわずに成田からゆとろぎへ直行し、さっそくリハーサルを開始。第1バイオリンのレフ・マスロウフスキーさんは演奏会場であるホールに響きに「演奏者に

とって、とても心地よい響きを感じる」と盛んに頷いていました。また、客席の位置を代えながら練習を見守っていたプロモーターの椎名真紀さんも響きの素晴らしさにことのほか感心していました。ゆとろぎが主催する文化事業のコンセプトは「市民との交流」です。今回もコンサート終了後、レセプションホールにおいて小パーティーが開催され、素晴らしい演奏に感動した多くの市民が詰めかけて、団員の皆さんと親しくお話をすることが出来ました。（村山）

編集室から

▼ゆとろぎがオープンして早くも6ヶ月。9月から10月にかけて、「2006年ゆとろぎ特別企画」と位置づけて、新井達矢さんの能面作品展と中所宜夫さんの観世流能楽舞台公演がよい始まりです。本物の能面と本物の能舞台を身近に楽しめる絶好の機会です。是非、ゆとろぎへお越しください▼「2006年ゆとろぎ特別企画」は、このページの「舞台裏」で紹介したギャラリ―運営委員会と芸術鑑賞部会が中心となって企画運営を行っています。実は能楽公演の舞台裏で、ゆとろぎ初の公募による5名の市民ボランティアが活躍しています。その活躍ぶりは次号で紹介いたします▼さて、ゆとろぎのホームページが着々と整っています。印刷メディアでは伝えきれない情報もお届けしたいと情報発信部会は汗を流しています▼9月、「明るい定年を迎えるための総合講座」がめでたく完了。参加者の一人、立川市在住の男性は「電車を払ってでも出席してよかった」とのことでした。来年は続編として「男の生活技術向上講座」を企画中です。

季刊ゆとろぎ ● 秋号

2006年第1号通巻3号
2006年10月1日発行
発行 ■ 羽村市教育委員会
企画 ■ 羽村市生涯学習センターゆとろぎ
編集 ■ ゆとろぎ協働事業運営市民の会
〒205-0003
羽村市緑ヶ丘一―一五
☎042-570-0707
http://www.city.hamura.tokyo.jp

印刷 ■ (株) 東光社

東京都北区東田端一―一十二
編集に携わった人 ■ 江久保千英／笠原優子／関沢和代／日下田まや／平田栄一／船橋瑛／古澤義隆／村山利夫／山本豊／横田 轟／渡部清孝／羽村市教育委員会生涯学習課
写真 ■ 平田栄一／村山利夫
協力 ■ 新井達矢／中所宜夫

無断転載をお断りします。
Copyright ©2006 by YUTOROGI
All rights reserved.